

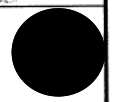





調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 勝浦伸行様



報告年月日	令和4年1月27日		
実施日(期間)	令和4年1月24日 14:00~17:00		
実施場所 (行先等)	一関市役所 全員協議会室		
事業区分 (いずれかに○)	○ 研 修	調査研究	要望・陳情活動 会議
事業内容	オンラインセミナー受講 講座名：適正な議員報酬の決定手法を考える		
報告者	(会派名) 輝郷会	(代表者) 小野寺 道雄	
参加者	議 員 小野寺道雄		議 員 千葉 幸男 
	議 員 千田 良一		議 員 千葉 信吉 
	議 員 猪股 晃		
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙		
主 要 資料名	別紙レジメ		

別紙

1. 目的

議会改革における議員報酬の議論を行う際の参考とするため

2. 概要

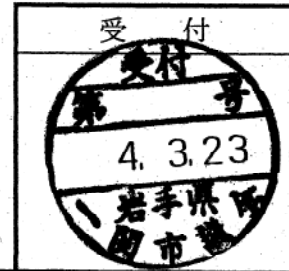
以下内容について、オンラインセミナーによる講座を受講した。
適正な議員報酬の決定手法を考える

3. 参考とすべき事項・所感

議員報酬の積算根拠の考え方、報酬改正における市民への説明のあり様等について、講師の所見を伺い、今後、議会での議論を進めていくうえで、参考となった。

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 勝浦伸行様



報告年月日	令和4年3月23日
実施日(期間)	令和4年3月13日～21日
実施場所 (行先等)	会派議員の自宅
事業区分 (いずれかに○)	研 修 調査研究 要望・陳情活動 会議
事業内容	<p>動画セミナー受講</p> <p>①10年目までの議員向け特別セミナー 1講座(3/13)</p> <p>②地域政策の実戦に向けて 2講座(3/18、21)</p> <p>③財政健全化のための基礎的課題 1講座(3/18)</p> <p>④地域分析システムRESASの活用手法② 1講座(3/20)</p> <p>⑤自治体財政の基礎的理解のために 1講座(3/19)</p> <p>⑥財政基礎(歳入編) 1講座(3/21)</p> <p style="text-align: right;">計 7講座</p>
報告者	(会派名) 輝郷会 (代表者) 小野寺 道雄
参加者	<p>議 員 小野寺道雄</p> <p>議 員 千葉 信吉</p> <p>議 員 千田 良一</p> <p>議 員 猪股 晃</p>
報告要旨	<p>1. 目的.....別紙</p> <p>2. 概要.....別紙</p> <p>3. 参考とすべき事項・所感.....別紙</p>
主要 資料名	<p>セミナーレジメ(省略)</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p>

別紙

1. 目的

議員資質の向上

2. 概要 以下内容について、動画セミナーを受講した。

①10年目までの議員向け特別セミナー

- ・初当選議員が失敗するポイント
- ・知識がない議員の発言は誰も聞かない
- ・議会のルールに翻弄される
- ・質問する際に押さえるポイント
- ・大学教授や先輩議員に質問の仕方を訊くと必ず失敗する訳

②地域政策の実戦に向けて

- ・地域包括ケアシステムの着実な推進
- ・生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加
- ・高齢者が自立した生活を営める地域づくり
- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・活力ある地域づくりに向けて大切なこと
- ・実践事例から学ぶ～市町村レベル別の参考事例～
- ・神奈川での実践を一緒に学ぶ
- ・本気の地方議員の活力が地域を変える

③財政健全化のための基礎的課題

- ・黒字と赤字を正確に把握しよう
- ・コロナによる基金の変化を知ろう
- ・京都市、新潟市などの事例から学ぼう
- ・財政の健全性を見るためのポイント

④地域分析システムRESASの活用手法②

- ・RESASで分析手法教えます
- ・人の流れを見える化できる
- ・RESASの最新利活用事例
- ・データに基づく質問の作り方

⑤自治体財政の基礎的理解のために

- ・なぜ財政がわかりにくいのか
- ・過去の参加者からのよくある質問から学ぶ
- ・家計に置き換えてイメージを掴むコツ
- ・全ての議員に知って欲しい財政の項目

⑥財政基礎（歳入編）

- ・地方税の区分をゆっくり解説
- ・地方交付税の簡単な理解の仕方
- ・補助金の仕組みと質疑のための課題
- ・地方債ってどんな役割か考え方を知ろう

3. 参考とすべき事項・所感

各セミナーにおいて、知識習得が図られ、今後の議案審査、議会改革等の議論を進めていくうえで、参考となった。